

2014年6月24日

*本報道資料はパリにて6月21日(土)に配信された内容を抄訳したものです。

報道関係者各位

アルストム取締役会は GE の提案を採択

2014年6月21日: フランス・パリ

GE は本日、アルストムの取締役会が全会一致でアルストムのパワー事業及びグリッド事業の買収に関する GE の提案を受け入れることを決めたとの報告を受けました。この決定に基づき、今後は労使協議会や規制当局の承認およびアルストム株主の承認を受けることとなります。本案件は 2015 年内に完了する予定です。

GE の会長兼 CEO であるジェフ・イメルトは「アルストムとの提携については次のフェーズに移行することとなります。グローバルで競争力のあるパワー事業とグリッド事業を有する企業体としてアルストムのチームと一緒に働くことを楽しみにしています。また、フランス政府、およびアルストムの従業員・株主とこれからの協業を楽しみにしています。以前述べたように、本案件は、フランス、アルストム、GE にとって有益です。」と述べ、また、「GE にとって、本案件の経済性はまったく損なわれていません。初年度から利益増をもたらすでしょう。」と述べています。

フランス政府は、グローバルにおける原子力事業・フランスにおける蒸気事業に関するアライアンス、及びフランス政府によるアルストムの株式購入契約書を含め、GE、アルストム並びにフランス政府の間の様々な提携に関する最終契約書の締結を条件に、本案件に関する外国投資許可を与えることを認めました。

本案件の詳細

GE の提案は、アルストムのパワー事業とグリッド事業を、当初案どおり企業価値 135 億ドル(99 億ユーロ)と純現金 34 億ドル(25 億ユーロ)、合計 169 億ドル(123.5 億ユーロ)で取得するものです。この全て現金による取引は、アルストムの火力発電、再生可能エネルギー、グリッド各事業の利払前・税引前・減価償却前利益 (EBITDA) の 7.9 倍に相当するものです。

本案件完了後、GE とアルストムは以下の3つの合併会社を設立します。

- グリッド: GE とアルストム両社のグリッド事業の統合
- 再生可能エネルギー: アルストムの洋上風力と水力発電事業
- グローバルにおける原子力事業・フランスにおける蒸気事業: アルストムの原子力発電所向け機器の製造とサービス及びグローバルにおける新設原子力発電所向け機器の開発ならびに販売。アルストムのフランス国内における蒸気タービン機器とサービス事業。

当該合併会社 3 社へのアルストムの現金投資額の累計は 35 億ドル(26 億ユーロ)で、GE の取得価格の倍率よりも高い倍率(予想 EBITDA)で評価されています。アルストムによるこの投資を含めて、本案件における GE の現金による総純支払額は 100 億ドル(73 億ユーロ)になります。

これらの提携には、ガバナンスと流動性に関する標準的な条件を規定する通常の株主間契約書が含まれています。

これらの合併会社に加えて、GE は信号事業をアルストムに約 8 億 2,500 万ドル(6 億 200 万ユーロ)で売却し、両社は米国におけるサービス、技術、サプライチェーン、製造、営業サポートなど様々な分野における協業をおこなう覚書を交わしました。

本案件によって、GE は、5 年目までに年間 12 億ドルのシナジー効果を創出することを引き続き目指します。また初年度から利益増をもたらす見込みですが、当初案に比べ、合併事業化によって本案件の予想利益は 1 株当り年間\$0.01~0.02 ほどの低下を見込んでいます。

GE について

GE は、世界が直面している困難な課題に取り組む企業です。人材とテクノロジーを最大限活用して、インフラ構築、電力供給、運輸や医療、金融に関わるソリューションを提供しています。日本において GE は、より安全でクリーンなエネルギーの供給や、急速に進む高齢化に対応する医療サービスなどに取り組んでいます。これらの課題を解決するために、技術革新を進め、ステークホルダーと協働して、日本の再生と持続的な成長を目指しています。エジソンを創始者とする GE は、イマジネーションを大事にするとともに、実行する会社でもあります。課題解決のために行動を起こす、それが GE です。日本における GE の活動については、<http://www.ge.com/jp/> をご覧ください。

「将来予想に関する記述」について

この文書には「将来予想に関する記述」、すなわち過去の出来事ではなく、将来に関する記述が含まれています。「将来予想に関する記述」では、予想される将来の業績、財務成績、財政状況にしばしば言及し、「期待する」、「予想する」、「つもりである」、「計画する」、「信じる」、「探し求める」、「見込む」、「～であろう」といった言葉を含むことがよくあります。「将来予想に関する記述」はその性質上、程度の差はあれ不確実な事柄に言及します。GE の実際の業績は、「将来予想に関する記述」で述べた内容と実質的に異なる可能性があります。その原因となり得る不確実性には、金利や為替レートの変動および商品価格・株価・金融資産価値を含む現在の経済・金融状況、欧米における欧州公的債務問題およびそれに係る将来的な市場混乱、当社が計画する GE キャピタル・コーポレーション(GECC)の資金調達の可能性やそれに伴う費用、そして、GECC の資産レベルを縮小するための当社の能力に影響を及ぼす、経済・金融市場の状況などが考えられます。また、法人金融・個人向け金融が債務不履行(デフォルト)になるリスク・レベルに影響を与え得る、住宅市場の状況および失業率の推移、当社の損失可能性見積もりを含む債務予想に影響を及ぼし得る WMC のモーゲージローン証券化に関する係争中または将来的な請求・訴訟、当社が現在の信用格付けを保持できる能力、および当社が信用格付けを保持できなかった場合に生じ得る、当社の資金調達費用や競争力への影響、四半期配当を計画どおりに実施する、もしくは自社株買いを計画どおりに実行する当社の能力に影響を及ぼし得る当社のキャッシュフローや利益など財務状況の適切性、GECC が計画通りに GE へ配当を支払う能力、内定受注(コミットメント)/落札の成約率、定価での内定受注/落札後の実際の受注価格、当社の客先である主要産業(航空会社、鉄道、エネルギー生産、不動産、ヘルスケア、あるいはその他の産業)からの需要およびこれらの顧客企業の経営状況、法律および規制・捜査・法的手続・法令遵守リスクの影響(金融関連法令の影響を含む)、自社株買いや買収・合併事業・売却などの戦略的行為の時期や規模などに変更を生じさせ、影響を及ぼす可能性のある、当社の資本配分計画、発表済みの案件完了や買収した事業の統合における当社の成功、北米でのリテール・ファイナンス事業からの計画的で段階的な撤退能力や計画しているアルストムの火力・再生可能エネルギー・送配電事業の買収、情報技術またはデータセキュリティ侵害が発生した場合の影響、さらに政治的、経済的、商業的、競争的な性質を持つ、国や地域、世界規模で起こる、その他の多数の事象が含まれます。こうした不確実性により、将来における GE の実際の業績は「将来予想に関する記述」で述べた内容と実質的に異なる可能性があります。GE は「将来予想に関する記述」を更新する義務は負いません。

GE の投資家向けウェブサイト www.ge.com/investor、コーポレート・ブログ www.gereports.com、当社の Facebook ページおよび Twitter アカウント (@GE_Reports を含む)には GE に関する情報のほか、財務や投資家の皆さま向けの情報が多数掲載されています。これらのウェブサイトにおいて、情報の更新および新たな情報掲載がなされるため、投資家の皆様には随時ウェブサイトをご覧くださいいただくことを推奨いたします。

<本件に関するメディアの方からのお問合せ先>

日本 GE コーポレートコミュニケーション本部 小池

Tel 03-5544-3847 / Sumito.koike@ge.com